

氏名（本籍）	川崎 瑞穂（神奈川県）		
学位の種類	博士（音楽学）		
学位記番号	甲第9号		
学位授与年月日	平成28年3月19日		
学位授与の要件	学位規則第4条第1項		
学位論文題目	徳丸流神楽の成立と展開 ―民族音楽学的芸能史研究―		
学位論文等審査委員			
（総合審査）	委員長	教授	吉成 順
		教授	久保田 慶一
		教授	友利 修
		教授	神原 雅之
（論文審査）	委員長	教授	吉成 順
		教授	久保田 慶一
		教授	友利 修
		教授	神原 雅之
			渡辺 公三（立命館大学副総長、副学長、教授）

## 審査結果の要旨

### 審査所見

学位審査委員会は、申請者 川崎瑞穂（博士後期課程音楽学研究領域）の学位申請論文に関して厳正な審査を行った。以下に、1. 論文審査、2. 総合審査に関する所見を記す。

#### 1. 論文審査

この論文は、埼玉県秩父地域に「徳丸流神楽」として伝承される一群の芸能について、長年のフィールドワークをもとに多角的な分析と考察を行い、その成立と歴史的展開に関する疑問を解き明かそうとしたものである。

埼玉県秩父市旧荒川村（荒川白久）に伝承されている「神明社神楽」は、近隣地域の「浅間神社神楽」（日野地域）および「三峯神社神楽」（旧大滝村）とともに、「群馬県方面から来秩した徳丸という人物によってもたらされた」という伝承から「徳丸流神楽」と呼ばれている。

本論文の第1章「徳丸流神楽概説」では3つの徳丸流神楽を概観し、第2章「神明社神楽における『伊勢神楽』源流考」では、徳丸が手を加える以前の神明社神楽について、口頭伝承や囃子の分析をもとに伊勢神楽との関係を指摘する。第3章「徳丸がもたらした神楽と『上州神楽』」では、徳丸が何をもたらしたかを探るべく演目を調査し、内容が山東京伝の滑稽本や同時代の流行歌を反映していること、およびルーツが上州方面である可能性、を指摘する。

第4章「徳丸流神楽における演目の変容と生成」では、3つの神楽の演目の異同や他地域の神楽との比較から、それらの影響関係や変容の様子を確認、第5章「徳丸流神楽における演目の中断と改編」では、演目の変遷が秩父における養蚕文化の繁栄や衰退と関係していることを指摘するとともに、音楽面における幕末の鼓笛隊の影響についても注目する。第6章では、前章までで明らかになった徳丸流神楽の形成プロセスについてまとめ、徳丸流神楽の変容には常に信仰や戦争の影響がみられることを指摘して論を結んでいる。

論述は長期のフィールドワークから得た実体験の厚みに裏打ちされており、個々の考察にも

十分な説得力がある。また、これまで古文書の記録に頼りがちであった神楽研究という領域にとっては新鮮なオーラル・ヒストリーや音楽分析といった手法を導入し、相応の成果を得ることに成功している。これらのことから、本研究は対象の選び方においても方法論においても極めて高い学術的価値を有するものと認め、審査委員会は申請論文が音楽学研究領域の学位論文として合格であると判定した。

## 2. 総合審査

総合審査では、論文審査の評価を確認したうえで、申請者のこれまでの研究活動の内容や、これまでに発表された業績の評価なども考慮して、総合的な審査を行った。その結果、申請者が「自律して研究を展開することができる意志と能力を備え、我が国の音楽文化の進展に寄与するとともに、国際的にも有意義な問題提起のできる質の高い研究者」として、将来も活動していくことが十分に期待できることから、「博士(音楽学) Doctor of Philosophy in Musicology」の学位を授与するに相応しいものと判定する。